

# AMDA、コンボ入り

## 衛星通信使い現地報告

コンボ難民への支援を続けるNGOの「AMDA」（アジア医師連絡協議会、本部・岡山市）の医師が二

十一日、アルバニア、ユーゴスラ

伝えている。

アルバニアとの国境に近い都市プリズレンでは、三十六の医療機関のうち、機能しているのは五つほどで、今後、難民の帰還が本格化すれば、「医療サービスの不足が課題になる」と指摘している。

ユーゴ自治州・プリズレ

ンには、アルバニアで医療活動を行っていた上田明彦医師（三）が今月十八日に入った。この都市では、入院ができる四つ総合病院のうち、三つは破壊され、三十

二の診療所のうち機能しているのが確認されたのは、うち四カ所だけだった。プリズレンの人口は現在、五

万人ほどだが、空爆前は五十万人もいた都市で、帰還難民が増えれば病院などの再建と医師の確保が必要となることが予想されるとい

う。

AMDAは「現在はユーゴ自治州内でのういった援助ができるかを調査している段階。新たな協力機関を探していきたい」としてい

